

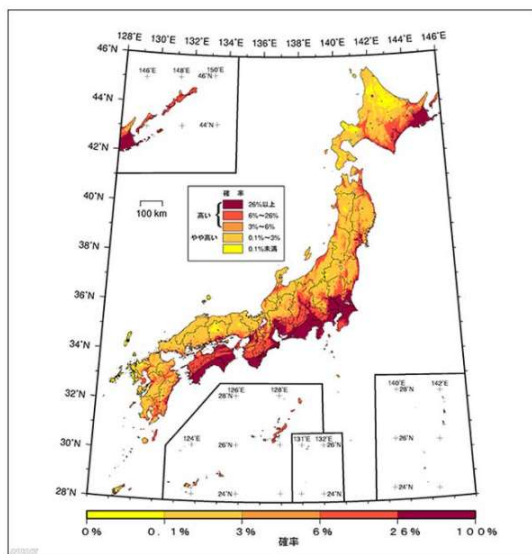
5月23日(日)はコープシティ桜台防災の日

2021年5月17日

コープシティ桜台 自主防災会

コープシティ桜台自主防災会では各ご家庭で防災について考えて頂く「**コープシティ桜台防災の日**」を設けています。今年は**5月23日(日)を春の防災の日**とします。
今回のテーマは「地震に備える」です。

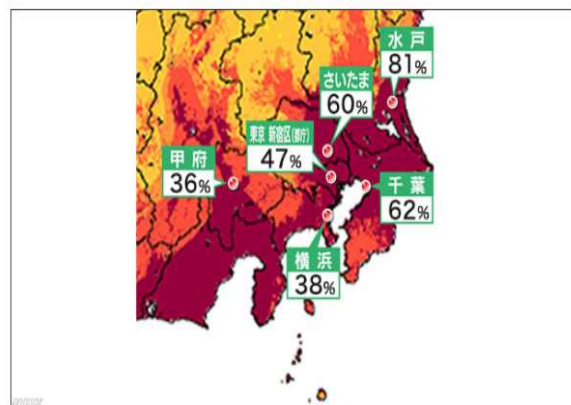
政府は今年3月、今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率を地域ごとに示した全国地震振動予測地図の2020年度版を公表しました。このデータによると千葉県県庁所在地のその確率は62%となっています。



出典：政府 地震調査研究推進本部

関東甲信

▽水戸市で81%、▽千葉市で62%、▽さいたま市で60%、▽東京 新宿区の都庁で47%、▽横浜市で38%、▽甲府市で36%と高くなっています。



また白井市が4月に各戸へ配布した「地震ハザードマップ」によると、市内全域で震度6強の揺れを想定しています。震度6強の揺れ方の目安は以下の通りです。

- ・はわないと動くことができない。
- ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。

地震による負傷者の30%～50%は家具類の転倒・落下・移動が原因と言われています。
各自で日頃から安全対策を講じましょう。

1. なるべく部屋に物を置かない。

納戸やクローゼットを活用して、できるだけ生活空間に物を置かない。

2. 避難経路確保のレイアウト

ドアや避難経路をふさがないように、家具の配置を工夫する。

3. 火災などの二次災害を防ぐ

暖房器具や発火の恐れがある家電などの転倒・落下・移動を防止する。

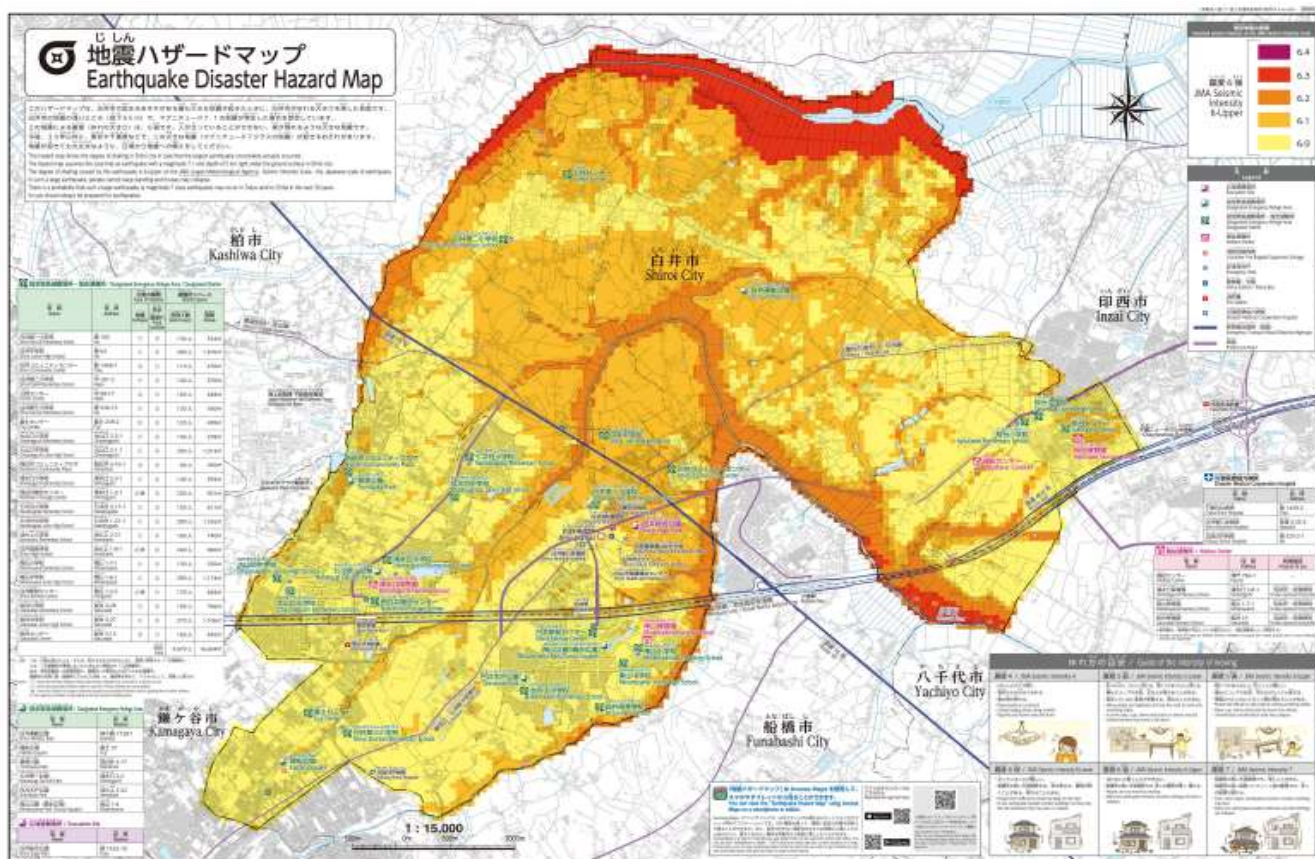
4. 転倒・落下・移動防止対策

食器棚・冷蔵庫・タンスなど背の高い家具を固定する。

自主防災会では居住者の皆様が防災活動に取り組むべき内容を防災マニュアルにまとめて、各戸へ2月に配布しております。ぜひこの機会にご一読ください。

出典: 白井市ホームページ_地震ハザードマップ

<https://www.city.shiroy.chiba.jp/kurashi/bosai/b05/9056.html>



備蓄品・非常用持ち出し品

ふだんから、備蓄品・非常用持ち出し品の準備をしましょう!

大きな災害が起きたときは、食べ物などの支援が届くまで、早くても3日くらいかかると言われています。

備蓄品は、ライフラインが復旧するまで、自分たちで生活するのに必要な物です。

必ず3日分、できれば1週間分の水や食べ物などを用意しましょう。

また、運搬するのに必要な物だけを、すぐを持って行けるようにすることも大切です。非常用持ち出し品は、リュックサックなどに入れて、すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。

ふだん食べている食べ物を消費しながらためておく
【ローリングストック法】

ためておいた食べ物、飲み物は、いつのまにか消費期限が切れて、役立たなくなっていることがあります。そんな時、消費期限が切れたものを「ローリングストック」といって、新しいものを買い替えることで、無駄に捨てずに済みます。

備蓄品 (家に用意しておくもの)

水・食料

- 飲み水 (1日3人×家族の人数)
- 保存がきける食べ物 (米・レトルト食品、カップ麺など)
- ※3日~1週間分を用意しましょう!**
- カセットコンロ・カセットボンベ

救急用品

- 常備薬 (かぜ薬・胃腸薬・消毒薬など)
- ばんそうこう・包帯・ガーゼ
- はさみ・ピンセット
- 体温計

非常用持ち出し品 (すぐを持って行けるように準備するもの)

- 飲み水 (水筒、500mlペットボトル)
- 非常用の食べ物 (ビスケット、栄養バランス食品など)
- 携帯電話 (スマートフォン) の充電器・予備のバッテリー
- お金 (硬貨も)
- 通帳・印かん
- 身分証明書 (運転免許証・パスポートなど)
- 健康保険証
- 携帯トイレ
- いつも使っている薬・お薬手帳

● 粉ミルクや老眼薬、セーターなど、家族や季節に合わせて準備しましょう。